

II. 3. FD 活動、受賞歴

○ FD 活動

年月日	テーマ	実施場所	参加 人数	実施母体（部会・講座等）	代表者
R7.2.20	AI 時代の外国語教育の再設計 ー歴史的考察と英語教育実践報告ー	オンライン (Z o o m)	76	マルチリンガル教育センター	今尾 康裕 新原 由希恵
R7.4.12	外国書教科書の特注取寄せに関する 生協との協議 (第 1 回)	メールによる 協議	2	朝鮮語部会	植田晃次
R7.5.29	外国書教科書の特注取寄せに関する 生協との協議 (第 2 回)	メールによる 協議	2	朝鮮語部会	植田晃次
R7.8.6	2026 年度カリキュラムの総合的検 討 (第 1 回)	言語文化 B 棟 朝鮮語研究室	1	朝鮮語部会	植田晃次
R7.8.18	学生用図書の選定 (第 1 回)	言語文化 B 棟 朝鮮語研究室	1	朝鮮語部会	植田晃次
R7.8.19	学生用図書の選定 (第 2 回)	言語文化 B 棟 朝鮮語研究室	1	朝鮮語部会	植田晃次
R7.9.1	授業実施に関する非常勤講師との情 報共有	メールによる 共有	4	朝鮮語部会	植田晃次
R7.11. 5~6	中国語教授法に関する検討	C101、A204	5	中国語部会	田中智之
R7.12.25	外国書教科書の特注取寄せに関する 生協との協議 (第 3 回)	メールによる 協議	2	朝鮮語部会	植田晃次
R7.1.7	フランス語共通テストの実施	豊中総合学館 301, 302, 401, 402, C 棟 C202, C402	18	フランス語部会	バルカ コランタン
R7.11.27	フランス語共通テスト問題検討会議	言語文化 B 棟 フランス語教 員交流室	5	フランス語部会	バルカ コランタン

R7.12.4	フランス語共通テスト問題検討会議	言語文化 B 棟 フランス語教 員交流室	5	フランス語部会	バルカ コランタン
R7.12.11	フランス語共通テスト問題検討会議	言語文化 B 棟 フランス語教 員交流室	5	フランス語部会	バルカ コランタン
R8.1.8	外国書教科書の特注取寄せに関する 非常勤講師との協議	メールによる 協議	2	朝鮮語部会	植田晃次
R8.2.13	2026 年度カリキュラムの総合的検 討（第 2 回）	言語文化 B 棟 朝鮮語研究室	1	朝鮮語部会	植田晃次
R8.3.9	外国書教科書の特注取寄せに関する 生協との協議 （第 4 回）	メールによる 協議	2	朝鮮語部会	植田晃次

○ 国立七大学外国語教育合同シンポジウム

令和 7 年 11 月 28 日（金）にオンライン開催された国立七大学（北大、東北大、東大、名大、京大、阪大、九大）外国語教育連絡協議会では、九州大学が当番校となり、東北大学が提案した協議題「初年次の全学英語教育－課題と展望」の下、各大学がカリキュラムの現状や工夫、成功事例、今後の課題について報告し、活発な意見交換が行われた。大阪大学からは、人文学研究科言語文化学専攻越智正男副専攻長、マルチリンガル教育センター小杉世センター長、マルチリンガル教育センター井元秀剛言語教育推進部長、三宅真紀言語教育推進副部長の計 4 名が参加し、小杉センター長が大阪大学の英語教育のカリキュラム改革と現在の課題、将来の展望について、作成した資料に基づき報告し、意見交換を行った。

○ 人権問題への取り組み

- ・教職員対象キャンパス・ハラスメント防止研修会

日時：令和 8 年 1 月 29 日（木）15:10～16:10

会場：言語文化 A 棟 2 階 大・中会議室 A

講師：宮村 直子 氏（大阪大学ハラスメント相談室 助教・専門相談員）

テーマ：「大学におけるハラスメントを防止するスキル」

主催：人文学研究科言語文化学専攻キャンパス・ハラスメント問題小委員会

○ 受賞

○ 令和 7 年度

- ・第十一回日本翻訳大賞 ：木原 善彦 教授
- ・第 62 回 日本翻訳文化賞：田中 智行 教授

- ・第 20 回（2025 年度）外国語教育メディア学会学術賞：西田 理恵子 教授
- ・令和 7 年度大阪大学賞（若手教員部門）：金澤 佑 准教授
- ・2026 年本屋大賞 翻訳小説部門 第 3 位：木原 善彦 教授
- ・第 44 回日本生理心理学会・日本感情心理学会第 34 回 合同大会 日本感情心理学会 精励発表
賞：金澤 佑 准教授